京都帝國大學新聞
昭和六年十月五日（月曜日）
第百四十九號（一）

嵐の孤兒—學消 遂ひに解散か

學生課からの勸告に對して 明六日回答の筈

學消に解散を勸告 したる事情に就て

三日午後四時＝學生課發表

「支那經濟の特殊性」

國際聯盟協會支部の主催で 作田莊一博士講演

伊勢大廟に參拜し 明野飛行場見學

十、三の休日を利用して 配屬將校の斡旋で

店仕舞投賣か

反對側學生談

何が三千人の大食堂を生むか

一學生は語る

織田萬博士 一萬圓を寄附

メスを投げた 食道癌の治療

…が譯なく出來る喉の外科

明春學會へ業績報告

各國一流の外科醫も

みのりの秋を

醫學の諸會合

十二月まで相ついで開催

人類學研究會

第一回例會

小兒科地方學會で 服部博士 研究を發表

文學部の 卒業論文規程

寄宿舍記念祭 を兼て盛況

高校、大學理學部及高師等の絕好の參考書。

理想 秋季特輯號 第二十七號（二三頁）定價一圓 送料八錢
人間學
人間の立場 高山岩男
人間と世界觀說 本多謙三
大衆と個人 城戸幡太郎
人間としての心理學の問題 瀬沼茂樹
文學及び文學論の人間學的形態 中井正一
藝術の人間學的考察 田中美知太郎
人間認識にあらはれたギリシア人間學 河南仙四郎
カトリック、プロテスタント兩基督教會の救濟的人間學 山邊健太郎
マルクスの人間學 大江精志郎
ハイデッガーの人間學 岩崎鏡一
シュラーの人間學 佐藤通次
ベルグソンの人間學 岡邦雄
ニーチェの人間學 三枝博音
ヴォルテールの人間學 戸坂潤
カントの人間學 三木清
人間學の文獻 編輯同人
理想社出版部
東京市芝區白金三光町一五 振替東京七八〇〇番 電話高輪（44）一〇五番

ロンドンスタイルの洋服はナガヤ
寺町丸太町電停南
洋服部指定 電二四六三番

新京極 東入 西店 正宗ホール
江戸風流 小鼓調理
電五本局二八四五番

雅正札の店 そのべ呉服店
京都三條通り八坂神社前 電話祇園一三一番

今こそ 秋の新しい装ひに
チユウセ！
着物の正しき選び方を教へ親切丁寧に御奉仕して居ります
新京極 東入 西店 正宗ホール
江戸風流 小鼓調理
電五本局二八四五番

就職體驗記
血みどろの就職戰線
就職者の就職先と出身學校の一覽
高校、大學理學部及高師等の絕好の參考書。
就職ABC
就職と女は
就職と彼と
數學閑話
解析幾何學
微分學
積分學
東京市小石川區久堅町一〇八番地 文明社

CORONA PORTABLE TYPEWRITER
コロナ携帶用／優秀器
美術印刷 講話 飲食 化工學用品 各種 洋書 和書
京都市 文適堂 電話上一〇〇番
¥135.

（第二種郵便物認可）

省併合問題

神戸正雄

行政整理、財政整理、稅制整理は現內閣の三大事業として標榜する所であり、その成案如何は內閣の信望に關する重大事である。幸ひにして府縣會議員の選擧は＝現內閣＝に有利の結果となつたので、先づ一安心といふのであらうが、そして對支關係も今の處、先づ順調に運びつゝあり唯だ此方には前途に却々複雜にして豫測の難きものが存して居るがそれは暫く後の問題として、當面には內閣の大使命たるこの三大整理を何うするかといふことが問題なのである。

今や來るべき昭和七年度の豫算案を立てなければならぬ時機に迫つて居るにも拘らず、それが例年より後れて居るのは、右三大整理案が定まり兼ねた爲めだといふことであり、その三大＝整理案＝は豫算の前提ともなつて居る。其成案こそは興味ある條件でなければならぬ。然るに其中に就いて省廢件の問題が閣議中の意見相違の爲めに、容易に解決せず、場合によつては、これによりて內閣の不一致、從つて內閣の自滅となり、自己倒壞をも來たすであらうなどと噂されたものだが、其最大難關の少くとも一が最近、首相の裁斷によりて解決したと傳へらるゝのは、兎も角現內閣の爲めには喜ばしきことであり、その餘の諸案も、相次いで解決し、やがて諸整理案も立ち來年度の＝豫算案＝も出來上るであらうとも見れらる。處でその省廢合案が何う定まつたかといふと、拓務省廢止のみだといふ。そして農林、商工二省の合併も中止したといふことだ。勿論、遞信、鐵道二省の合併による交通省新設の如きは問題にはならぬらしい。かくてその結果として產み出される餘裕は僅かに五千萬圓ほどだといふ。今我財政も世界各國同樣に赤字財政の列に加はりつゝあり、そして、來るべき七年度の不足が一億圓以上にも上るとして、それに對する五千萬圓といふのでは雀の涙ほどのもので、何の足しにもならない。こんなことではその他の行政整理とて大したことは出來ず＝來年度＝の豫算が滿足に編成せらるやさへ疑はしくなつたといふものである。大山鳴動して鼠一匹とは全く之を指すのであらう。省廢合といふからには、もつと根本に觸れて大々的にやつて貰ひたかつた。例之、農林、商工の併合のみでなく、遞信、鐵道その他を併せて事業省を作り、陸海軍を併せて空軍をも容れて軍務省とするが如きことまでして欲しかつた。その方が仕事の能率をあげるのには望ましい。のみならず國費を節し、國民の負擔を輕くする所以であり、赤字財政を處理する所以でもある。元來＝赤字財＝政を處理するのには第一次に歲出を緊縮し、第一次に避けられないだけにて、租稅乃至公債によりて歲入增加の途を考ふべきである。かゝる切迫したる時機こそ省併合を斷行すべきであるのに、之を逸し去つたのは遺憾である。

省廢合の結果として大臣、次官、參與官に失職者を生ずるが、それは無任所大臣、無任所政務官を作つて置いて之を救つたら良い。從來我國の國務の爲めの省は分立に過ぎて統一連絡を缺くから、もつと併合して省を少くした方が仕事が圓滿に行はれ、無駄をも省すと思はれる。他方、大臣や＝政務官＝は、今でも多過ぎるといふが、見方によつては此方は少な過ぎる位で、例へば閣議に列する大臣は、もつと多くして良い、この大臣が凡べてそれぞれの主管省大臣だと、自ら各省割據、豫算分捕となりて國費を膨脹せしめる。だからして內閣に列する大臣の數は今よりも多くして無任所大臣を、各省大臣よりも一二名多くして、之をして各省大臣の豫算分捕を牽制せしめるが可い。私は省廢合については大體、右の樣に考ふるが、今度の案が唯一つの拓務省廢止では物足りなく感ずる。そんな位なら、これも殘して置いたら良く、＝省廢合＝は、も一度考究し直しては何うかと思ふ。拓務省といふと、現在の規模極めて小で、それ位のものは價値なきものゝやうにも考へらるゝが、併し將來の我國の發展が海外發展に待つものゝ多きことは、我邦の人口過多、天然資源貧弱からいうても想定され得る所であり、そして退嬰萎縮でなくして進取積極を以て國是とするならば、既に持つ所の植民地の開發、並に海外諸邦への移民に全力を傾注し、以て國民の生活を進め、母國の產業を伸ばさなければならぬ。これ等の世話をするのは、外交にも關するが、單なる外交ではなく、＝內務的＝の仕事ではあるが、單なる內務行政でもなくこの內務外務二省と交涉しつゝ、農林、商工、遞信とも交涉して、その上にも陸海軍とも聯絡を取つて行ふべき複雜なる仕事だからして、之を巧くやる爲めに、獨立の省を存し、主管大臣を設くるのも敢て無用とはいへない。全體の行政に根本的の改革が行はるゝならば、その一部として拓務省を廢止しても良いが、他と切り離して、之れだけ一つ廢止とは如何なものか。

或は此省が最も小さい省だからそんなものを一省とせずとも可ならんともいふが、然るときは農林、商工、文部、司法各省も＝五十步＝百步の差でこれ等のものも凡て小さな省で、小さいから止めるといへば之等を止めても良く、又これ等は既存の省の中に併合することも出來或は內閣直屬の一局としても良く、或は司法省の如き大審院に附屬した一事務廳としても良い。だからこの理由では拓務省のみの廢止は成立たぬ。其處で拓務省廢止とは、これが最も新しく出來たもので、而も目下主務大臣も首相の兼攝中であり、抵抗力の最も弱き處だからそれから止めるといふに過ぎぬ。官吏の減俸、拓務省の廢止等々、結局＝弱い者＝は先づ不利を受けるといふ運命にある。之もそういふ風に見れば解釋はつく。

現代人と唯物史觀（一）

牧　健二

私はこれから「現代人と唯物史觀」についての意見を述べたい。私と雖もこれが大きな問題で、現在その一部分でも十分滿足な解決を得ることが殆ど不可能であるといふことを、認めざるを得ないのであるが、問題が重要なだけに、これは吾々にとつて反省を促し、よく考へて置かなければならぬものだと思ふので率直に歷史家として有する疑問を述べて批判を仰ぎたいと思ふ。固より未だ完成した結論にあらず研究の途上にあることで、大成を他日に期する次第である。

唯物史觀が現代人の思想と生活とにとつて重要な地位を占めてゐるといふことの理由は二つある。第一に、此の歷史觀が資本主義によれる現代經濟生活の反映として生れたことである。マルクスの政治經濟學批判の序文に此の史觀の有名な公式が書かれたのは、一八五九年であつたから資本主義經濟の完成に出でたもので現代生活にとつてはきはめて重要な歷史觀を茲に見るのである。第二に、この歷史觀が自ら科學的であると言ひ人々もそのやうに扱ふといふことを見るが現代では科學的といふこと程現代人を引きつけるものはない。これが現代人に強く迫る。唯物史觀は在來の觀念的、宗教的な、空想的な意見とは本質を異にするといへば、現代人は何人でも甚だ之に引き付けられる。斯くて現代資本主義生活のもとに出來たといふことゝ、それが現代人に信用せられてゐる科學的の歷史觀であると思はれてゐる點に於て、現代人は此の史觀の強い魅力を覺ゑざるを得ない。私が云はんとする所も、固より此の二點にふれるのであるが、今大學の講堂で之を論ずるに就ては、この歷史觀の學問的位置即ち其の科學的なる點とは果して何であるかと言ふ點こそは、最も深く強く吟味せられなければならぬと思ふ。

更に科學的にと云ふことが歷史家にとりても殊に興味のあることで、從來の歷史哲學は多くは觀念的又は宗教的で、天降り的に吾々に迫るが、かゝるものを採用してよいか惡いかは、甚だ疑問を持たざるを得ない、否、之を排斥せざるを得ない。歷史家は考證を尊ぶが、その學問の現在の性質からして、想像や空想や單なる理論で之を畫くが如きことを斷然排斥する。ところが過去に於ては瞑想の產物を以て歷史觀とする傾向が强かつたので、吾々は歷史哲學に對して多くの信用を有し得ない。所がこゝに唯物史觀が出來て歷史觀が實踐から生れたといひ、抽象的空想的な歷史觀は吾吾の最も排斥する所であるといふことになると、歷史家は之に對して、一應耳を傾けざるを得ないのである。

言ふ迄もなく、この問題は廣く科學者が深い關心を持つことであらう。即ち歷史の本體として唯物的自然史を畫く此の歷史觀に對しては、自然科學者も亦深い興味を持つべき筈だ。歷史に就て實證を見るところの史觀であると言はるゝ點に於ては、歷史學をはじめ廣く文化科學や社會科學を研究するものが深い關心を持つ。のみならず實踐によつて、唯物史觀が理解される、たとへば色々の實際運動殊に勞働運動に參加することに依つて此の史觀の眞理であることが分るといふのであるから、興味を持つ者は學者のみではなく實に政治家も實業家も勞働者も切實に之に對して關心を有して來る。然るに此處に殊に之に對して深き學問的興味を有すべき筈の者は、歷史家である。なぜならばこれは歷史に對する一個の究極的の見解であるからだ。歷史家は之に對して遂に終り迄沈默を守り、只漫然として考證に耽つてゐるべきものに非ず。歷史家はこれに對して殊に深い關心を持つべき筈のものである。抑々唯物史觀では、哲學的方法と言ふべき部分は、主として辨證法の如き形式的方面であつて歷史觀の本體は實は歷史の實證を待つ。此の歷史觀に於て言ふが如くに、意識が存在を決定するのではなくして、それは全く反對に存在が意識を決定し、物質的の存在、從つて起る社會的存在が意識を決定するのであるとすると、それは凡て歷史的生活の事實問題にふれることになる。即ち此の史觀の本質に最も多く觸れる者は、歷史家でなければならぬ。歷史家が事實の探究に疲れ、之より飛躍して理論的の思惟に進むことが出來ないのは其の通弊であるが、眞の歷史家である以上は個々の事實から更に裏面に立ち入り、歷史の本體が何かと云ふことを追究して之がよくわかるので、なけらねばならぬ。文化史の根本の動力の把握でなければならぬ。私は歷史學をこんな者だと考へるから、かやうな歷史家の立場から少し述べて見度いと思ふ。

そこで之に就ては、勿論廣く歷史一般を考へるが、其中にも日本人としては日本歷史上の事實をなるべく多く參考にするのが必要だらうと思ふ。それは勿論日本史を特殊國の歷史とするのではない。唯物史觀を解く我國の學者は外國の歷史を最もよく參考とする。そして其の仕方は甚だ公式的抽象的である。然るに唯物史觀其の者の立場は抽象的にではなしに具體的であり、實踐的のやり方であるのを本領とするのだ。日本人がこの點に於て日本の歷史を無視するやうなことでは、其の智識が、十分身にしむことがむづかしく、マルクスが抽象的には解つて居ても、具體的には分らぬことゝなり易い。吾等にとつては日本史を知ることに依つて、科學的の歷史觀の吟味（それは肯定でも否定でもよい）を比較的堅實になしうるのである。

さて之より唯物史觀の本領であるといふところの科學的立場を中心として考ふるに當り、私は人類史のやうな發達を考へたい。マルクスよりも以前に、フランスのコントが詳細に論述した所の人類史の三段の發展なるものは、人間の知識が三段階を經過して近代に至つたといふことである。それは一、神學的、二、形而上學的、三、實證的である。近代殊に十九世紀は實證を重んずる科學的の智識の行はるゝ時代に到達したと言ふのだ。そして彼は最も進步した哲學として實證哲學なる者をたてた。その神學的段階は神によつて作られた時代、形而上學的段階はあらゆる現象を形而上的に考へられた本體によつて抽象的に說明せんとする時代、實證的段階は過去の經驗に基いて科學的に實證を基とする時代である。私は此考へ方の發展があつたと言ふ事實を大體是認する。かゝる發展史を哲學に參考としたのは、コント以前の歷史かあることだが、それは茲に立ち入ることを要しないとして、この考へ方を參考にする時は、この發展に關聯せしめて、私は歷史に對する觀方の發達を考へざるを得ない。これも亦三段階となる。即ち、一、事件二、沿革三因果關係の三つである。事件は一回限りの者で、神話時代から歷史として現れた。然るに事件は次第に連りをなせるものであるから此事が次に注意の焦點となつて來て沿革が歷史だとなつた。然るに更に進むとこれのみでは滿足し得ず、沿革の背後に之を貫く原因があつて、因果關係に依つて歷史が成立してゐると考ふるに至る。これが最後の狀態である。

古いものになる程、人智によつて因果關係を考へると言ふ程度が弱い。日本の神話などを見てもすぐわかるが、事實の敍述に關するものは、素盞嗚尊が天照大神の御殿や御田で、いつどんなことをやつたと言ふやうに、事も細かに書かれてゐる。次に年代記から物語といふやうに漸次沿革の敍述が進步するにつれ、全體の過程を徐々發展的に考へるやうになる。が廣く歷史全體を人智の中に入れ込むことが出來ると、茲に歷史なるものの原因を實證的に考へる。即ち因果關係は現代では之を無視し得ないことにまでなつた。即ち科學的に見た歷史が愈々完成に進んでくる。歷史學の發展史はこんなものだ。私はこゝに於て先に言ふ所の人智の發展が神學的から形而上學的段階を經て實證的段階に移つたと云ふことと歷史の發展が事件から沿革を經て因果關係に移つた過程とを興味深く對比せざるを得ない。そしてこれを連絡せしめて考へて見ると、第三番目の見方が出る。即ちかゝる智識の發展史は、自ら歷史觀の發展史を宿す。同國の歷史觀が茲に出てくる。即ち一、宗教的歷史觀二、哲學的歷史觀三、科學的歷史觀と三段の發展を認めざるを得ないで、私の見るところによると、この三段の發展を經過して、科學的歷史觀にならなければならなかつたのが、近代歷史觀の位置である。

右の發展をも少し述べると、先づ古事記の時代の人は、現世の出來事であるアラハニゴト（顯露事）は、凡て神の支配に隱するカミゴト（幽事）だと考へた。歷史は凡て神事なりと認め、神の意志に依つて人事も定まるから、人間には神意が外部に現はれたところのみが分るのだと考へた。斯樣に見る時代には、個個の事件が發展の過程に於て理解されぬ。判るのは個々の件のみであるがそれは神の意志の表現であるから、明日は分らない。これが原始的の歷史觀である。

次に私は敢て哲學的と云ふが、形而上學と云ふことも出來やう。それは思辨的に歷史觀を考へることである。最も屢々歷史哲學と云ひ來つたものが之に屬する。其の顯著にして現代人の記憶に新たな者では、ヘーゲルは自由の觀念が發展すると考へた。自由は東洋にはなかつたが、ギリシヤ、ローマに至つてそれが起つた。そしてゲルマン人こそは眞に自由を確得したと觀て居る。又ヘーゲルに依れば自由が實現する所が即ち近代の國家である。唯物史觀と殆ど反對の見解である。かくの如き者が哲學的の見解である。所がこれは哲學者の意見であるから、事實が果してそうなのか判らぬ者がある。同樣に東洋的に考ふる者なる者は古來我國の思想を動かし、勸善懲惡の考へ方で歷史を書いたのが多い。賴山陽の日本外史にも勸善懲惡の觀念がある。

歷史が單に事實を述べるのみならば、大多數の人は、それによつて感銘を覺ゆることがない。山陽の外史が世に受けたのも背後に當時の人を共鳴せしむる哲學があつたからである。即ち潛在してゐたからである。即ち一つの自由とか、一つの善とか言ふやうな發展する本體を置いて、それが歷史の中に實現して沿革を支配してゐると見たのである。

之に對する時には、歷史を因果關係を根柢として考へるのは最も新しい觀方である。歷史に對する科學的の考へ方が熟したものである。歷史を知る爲に個々の事件に就ての考證も勿論重要であり、沿革の敍述も大切であるが、科學的に考へるのならば、結局何うして其れが起つたかを考へる所まで行かねば駄目である。廣く歷史に就て、「何がそうさせたか」を考へねばならぬ。そこまで考へると、始めて眞劍な考へ方となつて來る。斯くて歷史觀が因果關係まで行かざるを得ない。宗敎的歷史觀、哲學的歷史觀の科學的歷史觀の三つは、過去の歷史觀を顧みて、ごく大ざつぱに分けて見たのである。勿論內容的に見れば其の各々が更に種種に分れる。今分りよくする爲に圖表を示せば

神慮、發現、事件 ↓
觀念 ← 發展、沿革
因果關係、現象 ↑

神慮が上から下に現はれることに依つて現實に個々の事件が現はれる。これでは滿足せずして事件の連續による沿革を考へることになり、それが進むといふと觀念が歷史を貫いてゐるといふやうに觀る。進んで深く因果關係を考へると、歷史を人力により理解する努力が始めて完成の域に進む。即ち先づ個々の事件として考へ、次第に全體的に展望するやうになり、最後に科學的研究が發達して、全體の歷史の根源を考へるとなると、全體が分ることになる。歷史の本源を自分の思辨で考へたものにあらず、かゝる究極的のものすらも實證的にしらべる狀態になる。かくの如き人智と歷史觀との發達史は唯物史觀の理解と批判との爲に基礎的なる役割を持つ者である。唯物史觀は第三番目のものにあたる即ち實證的の立場に立つと主張する者である。又唯物史觀は因果關係について考へ、歷史の原動力を [illegible]

滿洲問題に就て

矢野仁一

—— 一 ——

滿洲の特殊性の第一は滿洲が支那本來の領土でないといふことである。滿洲は清朝即ち滿洲朝廷の時代に於て支那の領土ではなかつた。滿洲朝廷は滿洲をその特別の領土、滿洲旗人の居住地として特別に保留し、特別の行政の下にこれを支配した。當時清朝は滿洲を封禁の地として支那人の移住を禁じたといふ說はあるが、これは何かの間違ひで根據のない說で、滿朝は初めより遼東植民開墾條例などを出して支那人の移民を獎勵した。しかしそれは寧ろ滿洲旗人の生計を保護するためであつたから一方には山海關の出入を譏察し遼東邊牆を設けて支那人の滿洲朝廷の許可なくして勝手に移住することを禁じたのである。要するに滿洲は清朝の時代に於て滿洲旗人の居住地として特別に保留された地である。西紀十八世紀から十九世紀にかけて滿洲に旅行した外國人はこの事實を直視し、此の事實に基いてこれを滿洲と呼んだ。支那人もこの當時に於ては滿洲は支那の領土であるといふ意識を持たなかつた。[illegible]といふ光緒時代の支那の學者は、滿洲考略といふ書に於て滿洲のことを矢張り滿洲と稱し、此滿洲は北京の東北にあつて國朝の發祥の地であるといつて居る。滿洲の名稱それ自身、滿洲が滿洲朝廷の時代に於て全體として開拓され、滿洲旗人の生計を保護するため特別に保留された特別の領土であつたことを意味する。

かういふ滿洲が遂に支那の領土である如く考へらるゝに至つたのは、それが支那の眞の領土たる事實に基づくものでなくして西洋人の無智誤解、並びに日本の學者當局者の飜譯學問飜譯外交を能事として無批判に西洋人の無智誤解に基づく說をその儘に是認したる結果とに基づくものである。

—— 二 ——

滿洲の特殊性の第二は、日本は滿洲に於て日本の國防及び經濟的生存の緊切なる利害を擁護する正當な權利を有するといふことだ。この利害は日清戰爭後馬關條約に於て遼東半島の割讓を要求した時から感じたところの利害で、三國干涉の結果遼東半島を拋棄したが、此利害を拋棄したものではなかつた、遼東半島を拋棄した結果却つて一層强くこの利害を感ずることになつたのである。

支那は日本をして此の如く緊切な利害を感じてをる滿洲を三國干涉を招致して强要して還附せしめながら、日本の敵國たるロシアに與へんとしたので、日本はよそ事の樣に思ふことができず自ら立つてこれを擁護しなければならなくなつた。これは條約によらず、支那の日本に對する不信義なる態度によつて當然日本に對して認めなければならぬ日本の正當なる權利となつたのだ。條約に基く權利は支那が條約及びその精神を忠實に實行する以上は日本は支那に條約通り還附しなければならぬものである。或は條約の期限以前に還附してもよいかも知れぬが、この條約に基かぬ國防及び經濟的生活の緊切なる利害を自ら防護する權利は還附せんとしても、還附する能はざる根本的の權利である。

—— 三 ——

支那人は或は滿洲は清朝時代に支那領土でなかつたとしても滿朝の退位と共に當然中華民國の領土となつたことは明かだといふが、滿朝と雖も滿洲を日本のこの根本的權利を無視してその完全なる領土として無條件に讓渡する權利はない。況して淸朝の退位は中華民國の提出した清朝優待條件に基づくもので、中華民國がこの優待條件を不信義にも反故にして實行しない以上は不完全な領土權すらも繼承したものと適當に主張することはできない譯である。

—— 四 ——

滿洲に於ける日支の共存共榮はもとより日本の望むところだが、それは日支兩國人の相互の理解と相互に感謝の念を持つことは絕對に必要な條件だ。第一に支那人は今日の如く滿洲に於て安全に生存し繁榮することを得るは、日本が國力民命を賭して支那のためにロシアの勢力を驅逐したこと、また滿洲に於て交通の發達と秩序安寧の維持とを圖り、滿洲をして支那の他の地方に於て望むべからぬ平和と安全と經濟的生活の發達とを保障したゝめに外ならない、といふことを反省して深い感謝の念を抱くことは必要で、支那人にしてかういふ態度に出づれば、日本人も當然日本の望むところは領土でない、支那にして自ら日本の國防及び經濟的生存に脅威を與ふる樣な施設をなさず、またさういふ權力を導くことをなさぬ限り支那人は一人でも多くなれば、それだけ日本の經濟的生存に必要なる原料の生產、生產品の需要を增加する譯であるとして、支那人の繁榮を益々歡迎し感謝するといふことになり、その結果日支の共存共榮といふことも可能となる譯である。然し支那人に、この感謝の念が望まれぬとすれば日本としては滿洲の特殊性を維持することは已むを得ざる必要事となる譯である。

—— 五 ——

私は滿洲を日本の國防及び經濟的生存に緊切なる利害を擁護する正當なる權利が正當に承認せらるゝ狀態に於て保留すること換言すれば滿洲の特殊性を維持することは日本として必要であ [illegible]

印度は答へる

ラス・ビハリ・ボース

二十世紀の今日、或る國民が他の國民に服從を強ひらるべき理由が何處にあらう、然らば大印度はなぜ服從を強ひられてゐるのか

いつたい印度とは何か

多くの人が思ふ樣に、印度は未開國又は半未開國であらうか、取るに足らぬ國であらうか、印度の自由か束縛かについて、考へて見ねばならぬほど、人類に關心を與へる仕事を印度は曾て爲したことがあるか

正視せよ、印度は世界最古の國だ、その起源を尋ねれば、三千年以上も溯らねばならぬ、それから現在まで連綿たる歷史を持つてゐる、支那を除けば、印度が世界で一番大國だ、印度の人口はロシアを除く全歐に匹敵し南北兩アメリカの總人口を遙かに凌駕してゐる

印度は高度の文明國だ、然りヨーロッパのどの國よりも、ずつと早く豐饒な文化を發達させた、今日でもその文化は決して失はれてゐない

印度はアレキサンダー大王の手にも合はぬほど强力な國のあるとを示した最初のいな唯一の國だ、大王の進軍をとゞめ、彼をして世界征服の野望を斷念するに至らしめたのは實に印度であつた

印度は大英國に征服され、その富を奪はれるまでは、世界第一の富國であつた、世界史上で最も偉大な宗敎六つの中で、二つは印度がそれを生んだ、世界最大の敍事詩六のうち、二は印度の作である、印度は東洋のセクスピーアを人類に贈つた、「失はれた指輪」その他の大戲曲の作者カリダサを

印度は近代數學、ひいては近代諸科學の根柢をなす十進法、いはゆる「アラビア式記數法」を與へることによつて、世界文明の發祥とその進步に、貢獻するところ誠に甚大である

夙に印度は、あらゆる科學の基礎を創造した、その中には印度自身が、更にそれを著しく進步させたものもある。今日印度は隷從狀態にありながら、なほ傑出した科學者を [illegible]

經濟史研究
十月號 [illegible]
日本評論社

小山齒科醫院
小山正光
[illegible]

新しい藝術味ある寫眞
岐陽館 小林祐史寫場
本館 [illegible]
シークで明るい大衆的な 第二寫場 [illegible]

クスリ 東山藥局
熊野電停前 電上三一四〇

洋服は 共濟部指定 仕立最も親切
帝大北門前 有本 [illegible]

各國冬帽子特賣會
一日より十日中　二階

新着冬服地陳列會
一日より七日中　四階洋服部

英國より新着いたしました今冬流行生地を多數取揃へました
尚國產優秀品も共に陳列致しました
是非御來濶御覽の程を

大丸 京都・四條

發賣開始
恐らく空前絕後の此の計畫が發表されて一年有餘、江湖の熱讚と待望の裡に出版を急ぎつゝあつた本書、今や堂々完璧を期して全國書店に配本開始

理學博士 —— 松村松年著 —— 農學博士

日本昆蟲大圖鑑

定價十八圓 —— 特價十五圓

三千部限 特價提供
[illegible]

◆內容見本送呈
東京・神田・駿河臺
振替・東京七二一八
刀江書院

靴・靴・靴
京大學友會共濟部指定
[illegible]

秋さわやかに 戦ひの時いたる！

十日から始まる對東大試合

桂冠はいづれに？

多數の新進を擁して 雪辱を計る東大

接戦を豫想される庭球

中衛を攻撃の主力こたのむ 排球チーム

既に敵を呑む ◇……劍道部の戰士

意氣軒昂

連勝を期待される 多士濟々の柔道部

新界彈化の爲に精進

ブレヤーの調子 如何が物を言ふ

諸家を失ひ 弓道は苦戰

運動週間は 授業休み

後援會設立を記念し 大演奏會を開催

大學と音樂

新城先生胸像 立體畫成に作つた

全國中等學校 柔道大會

京大短歌會 九日かぎやで

芝圖會の ボートレース

講座擔任異動

合同木葉展に 代る學生建築展

同明會の 秋の催し

同好會活躍す

秋色を探ぐる 遠足班のプラン

野山にあまねき

見學 八景と鎌倉

學期始めに

史學科の見學

「さかづきを捨てよ！」こ

空へ——建下へ

同好會活躍す

秋色を探ぐる 遠足班のプラン

野山にあまねき

見學 八景と鎌倉

學期始めに

史學科の見學

「さかづきを捨てよ！」こ

運動週間は 授業休み

後援會設立を記念し 大演奏會を開催

大學と音樂

新城先生胸像 立體畫成に作つた

全國中等學校 柔道大會

京大短歌會 九日かぎやで

芝圖會の ボートレース

講座擔任異動

合同木葉展に 代る學生建築展

同明會の 秋の催し

定指部濟共京東
1932年型 ソフト
歐米一流會社製品 二十種類
マルニ帽子店
京都東北社神野能側西

中外の患者の爲に設立
肺氣腫 喘息 療養所
佳絕光線・尺千金規模
紀野上病院
聖山麓・人・上醫術

京都市公會堂本館
尺八演奏大會
（會員券 3.50 2.00 1.00 0.50）
（前賣券 3.00 1.50 0.80 0.40）
主催 日本竹道興音本部
後援 京都日日新聞社 大阪毎日新聞社

眼鏡 專門 正確
京都大學病院眼科指定
府立醫科大學眼科指定
吉川眼鏡店
京都小兒科病院眼科
京都大學病院眼科
上京區九番
電話上京二九七八番
調製ガール、アイス入用
直營

皮膚科 泌尿器科
京都市河原町三條ビル西側
藪中竹吉醫學士
電話上(3)四四三番

サンロパンロー
滋養酒
京都府四條上ル東側

銀座 東京 山富士
銀座資生堂
銀沙龍
化粧品
かき政秋錦
電話上二七二番

秋の小天使

薄田泣菫

一

「ひん。かち。……ひん。かち。……ひん。かち。……」

閉て切つた障子に午後三時過の秋の陽が明るくあたつてゐる頃、眠さうな蟋蟀の歌に混つて、ふとこんな聲を私は聽きつけた。それは誰もがひとりぼつちの心寂しい折に、われ知らず唇を窄めて吹く口笛のやうな、弱い、かすかな、

といつたが、鶺鴒はその魂に沁み透る孤寂が何よりも好物で、「自然」がくさめ一つしてもけし飛んで無くなりさうな小さな體で、絶えず寂をもとめて、陰鬱な物蔭を物蔭をと捜し歩いてゐる。

この二つの小鳥に挾まれて、十月のなかば過にひよつくりと訪れて來る鶲こそは、日和續きのこの頃にふさはしい來客で、

らへをしてゐる。あるものはとんぼがへりを、あるものはぶらんこをといつたやうに。

三

誰も彼もが氣忙しさうに動いてゐるなかへ、ひよつくりと歸つて來た鶲は、持前の人の好さから人家の垣根近くに紛れ込んで、「ひん。かち。……ひん。かち。……」と、低い調子で歌ひながら、金茶の胸當に紋付羽織の着付で、彈機細工か何かのやうに愛嬌たつぷ

卅年祭に際し　子規先生を偲ぶ

花田比露思

詩經エロチシズム(4)　衛の莊姜

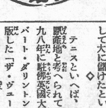
岡田正三

遠く野に送り來て
爪立ちすれど今は及ばず
流るゝ淚は雨かと思ふ
（二・三・四節略）

映畫論短　音の組立

野村千尋

APERITIF



ジャン・ジャック・ルツソーが死んだのは一七七八年七月二日のことだつた。その死は全く急激に來たもので、自殺説や、暗殺説もあつたが、最近になつて次のやうな事實が明かにされた。

◇

或る時、ルツソーが高い所から落ちて、ひどく頭を打つたことがあつた。はじめは、それがひどく痛んだが、間もなく癒つたので、彼も氣に止めずにゐた。彼の死はそれから二、三箇月後に襲つて來たのだつた。これについてリヨンの名醫ラカサニユ氏は、今から數年前に、ルツソーの頭蓋骨に骨折のあつたことを發表したが、彼の死假面には、確に、その骨折の痕跡が見られるといふことだ。これによつてルツソーの死因は、高い所から落ちて頭を打つたゝめだ、といふ至極平凡なことになつてけりがついた。

◇

大藏省が財政難切拔策として、婦人用の煙草を賣出すといふ記事が最近の新聞に見えたが、英國ではじめて、婦人が、正式に、かつ合法的に喫煙の權利を認められたのは、今から四十年前の一八九一年のことだ。

◇

或る當時のモダン・マダムが、夫君と一緒に、ロンドン第一流のレストランへ晩餐に出かけた。食事が終つて、さて一服となつた時、かの女は夫君のパイプに倣つてシガレットに火をつけた。これを見つけたボーイが規則を楯に取つてかの女の喫煙を詰つた。そこで夫君たるもの默つてをれなくなつて、ボーイとの間に大口論が始まり揚句の果ては、水差が宙を飛んで窓ガラスをぶち壞すやうなことになつてしまつた。しかし、事件が法廷に持ち出された時、判事ヴォーガンは、問題の彼女の夫君に對して一シルリングの罰金を申渡しただけであつたのみならず、今後、婦人も男子と同樣、喫煙[illegible]手たるべし、と宣言してしまつた。その後、拔け目のない商人が「御婦人用葉卷ヴォーガン」を賣出して大に儲けたといふことだ。

◇

テニスといへば、一般に英國が原産地と考へられてゐるが、一五九八年に駐佛英國大使館書記官ロバート・ダリントンといふ人が出版した「ザ・ヴュー・オヴ・フランス」といふ本によると、その頃は、英國でもまだテニスは餘り盛でなく、たゞフランスにおいてのみ繁榮を極め、「どんな田舍でもコートの一つや二つ無いところはなく、パリに至つては幾つあるか數へ切れない程だ。夏の暑い眞盛りに、子供や女かテニスをやつてゐる。フランス人といふ奴は、生れ落ちる時から、ラケットを手に握つてゐたものらしい。」と感嘆してゐるところから見て、テニスはフランスが元祖だといふ説がある

◇

イタリーのカマイオラといふ町で、十一世紀に作られたコントラバスが發見された。專門家の鑑定の結果、これは名匠ガスパロ・ガツサーロの作品と判明した。

映畫時評

松竹脫退　三人組の行方

◆……あれほど華々しく松竹を脱退した三人組、傳明、時彦、稔のトリオが、わづか一箇月にして、はかなくも破れてしまつたと最近のニュースは傳へてゐる、「はじめは脫兎の如く、をはりは處女のごとし」とはまさにこのことだ、しかし、これは何も不思議はないのだ、算盤に合はないものならどんな犧牲をはらつてもやりのけるといふ資本家に對抗する方法として完全に誤つてゐることを證明したまでなのだ

◆……だから、今更時彦や稔が松竹の軍門に降つたからといつて、それで彼らを責めるわけにはいかない、プチ・ブル的悲壯感の末路は、大體こんなものなのだ、しかし、かれらはたとひ、今松竹に復歸したとしても、現代の映畫會社のスターなるものが、資本家につかはれる一介の從業員で、かれらのふところを肯けさせない限り、いつでも冷酷にノック・アウトされるといふことをハツキリ意識しなければならないだらう、傳明は結局帝キネに入社するぐらゐが落ちだといはれてゐるが、この傳明の悲壯な姿は、やがて自分たちにも何時か來るのだといふことを、時彦よ、稔よ、はつきり意識し給へ、結局資本家松竹に對抗しうるものは、もつと大地に足をつけたガッチリした運動でなくてはならぬ（J・P・J・）

新刊紹介

◇古文學の詩味（坂井衡平著）氏の國文學研究論叢の一篇として公けにしたもので、我古文學の粋といはれる萬葉記紀は云ふに及ばず「佛法僧鳥」「信貴山緣起繪卷」等々興味ある幾多のトピックを捉らへて、蘊蓄の深さを示したもので、古文學研究者にとつてはよい考證の伴侶となるであらう——文書堂　定價二圓八十錢

◇現代藝術の諸傾向（ソヴエート文學研究會編）ストルプネル・ユシケーウイッチ兩氏の編纂せる「マルクス主義的照明の下に於ける藝術及び文學」の第三、四部の飜譯であつて廣汎なるマルクス主義的文獻を整理したよき入門書である——叢文閣、定價七十錢

◇社會經濟勞働者評論(6)（I・G・R社會經濟部發行社會經濟研究會譯編）「失業と戰爭の危險」「吾吾はどこに立つてゐる？」「恐慌からの出道」「サヴエート聯邦、失業のない國」「農業の社會主義的再建」等々十一項に分れ一九三一年一・二・三月に於ける世界勞働者の狀況を論述せるもの——叢文閣　定價六十錢

◇マルクス主義勞働者教程（第三分冊）（プロ科學研究所譯）本書の内容は第二分冊の練習問題に對する解答及び第二課資本と剩餘價値の完結であり剩餘價値率と搾取程度等四部に分れてゐる——叢文閣　卅錢

◇日本文化叢考（京城帝大法文學會編）同學會の第二部論纂第二輯として編まれたもので、内容は、支那文學の馬琴の作品に及せる影響—麻生磯次、古典註釋に現れた語學的方法—時枝誠記、朝鮮及び内地發見の耳飾に就いて—藤田亮策、山家鳥蟲歌と近世民謠の一面—高木市之助、佛師定朝—田中豐藏の五部より成り、日本文化の諸問題に就いて支那朝鮮の影響を考慮に入れ、新しい見解を下してゐる—刀江書院

◇再建後の左翼勞働組合運動（富呂波巖太著）全協がその基礎を大工場内に固めんとする目的を以て工場内で如何に戰ふべきかを、工場内の戰略戰術、ストライキの戰術、赤色自衛團等の項目の下に述べてゐる—勞農書房、一圓二十錢

◇昆虫記9（アンリ・ファブル著小牧近江譯）ナルボンヌのどくぐも、かにぐも、黄金蛛類、くさぐも、クロトぐも、しろさそり等の生活を取扱つてゐる—叢文閣、一圓

◇經營經濟學（現代經濟學全集第二十四卷、中西寅雄著）從來の經營經濟學の批判によつて新たなる私經濟學を樹立せんとする企圖の下に物されたもので、經營經濟學の本質、個別資本の生産過程、個別資本の流通過程、個別資本の循環とその回轉、財産及資本の本質と其構成、株式會社の六章より成る—日本評論社

◇數學概論（寺澤寛一著）本書は傍註にもある如く「自然科學者の爲の數學概論」で、大學理工科に必用と目される數學即微積分學を稍高い程度で詳述して居る—岩波、定價六圓五十錢

◇文藝的な餘りに文藝的な（芥川龍之助）中央公論、改造等にのせられた短篇「文藝的な餘りに文藝的な」その他十五篇、昭和二年七月迄の作品を、體裁のいゝ廉價版に集めたもので、全集本とかわつて親み易い小冊である——岩波書店、定價一圓

◇改訂版世界經濟年報（第一輯經濟批判會譯）初版以來絶版になつてゐたものを改譯し舊版の誤謬を正し、譯文を平易にした。本書は一九二七年上半期を含み、支那を繞る列强、アメリカ合衆國の解剖日本帝國主義の發展過程等をのべてゐる——叢文閣版、定價一圓

雑誌

▲ロシヤ語（創刊號）ロシア語を大衆へ！をモットーに創刊されたもの、ロシヤ語のへの一字も解らぬ讀者の多いことを豫想して、當分は發音と初等文法、たやすき讀物の逐次的・詳註的解釋に力めるさうだ。今號の執筆者は東京外語の八杉、佐藤兩敎授等六名—東京神田美土代町[illegible]書房發行・卅五錢▲セルパン（十月號）第一書房・十錢▲科學（十月號）岩波書店・卅五錢▲[illegible]（每號）其社・廿錢▲社會學徒（十月號）其社・廿五錢▲プロレタリア文藝雜誌集團（十月號）集團發行所・十錢

廣告

山本のソフト

今秋流行のソフト

内外一流會社製品中今秋流行の新型を陳列し斷然專門店たるの特異性を高調し皆様の展覽に供してをります

（學生諸兄ニ限リ一割引）

値段	
ボリサリノ	八、〇〇以上
舶來中折	六、〇〇以上
國産ファー	四、五〇（弊店特製）
國産ウール弊店	一、八〇
自慢ノ實用向ソフト	二、二〇
國産ウール	一、〇〇以上（弊店特製）

京大學友會共濟部指定

山本帽子店

京都市熊野神社北入東側

近頃東今出川に新らしく生れました!!

生地に　スタイルに　廉價に　三揃の洋服店出現

何卒是非御利用を

制服　紳士服　御註文のシーズン

制服
¥15 00……¥25 00
オーバ
¥30 00……¥45 00
背廣
¥35 00……¥50 00

當店のサービス（小修繕無料　ズボン折目仕上十分間デ無料　官報縱覽御隨意）

廣田洋服店

京都市今出川通加茂大橋東一丁

電話上六〇六九番

冬服地新柄揃

本年流行の粋を集めたる最新の珍柄を豐富に取揃へて有ります

合理化販賣（生地—安價　裁縫—實費）

合理化販賣に依る弊店賣價は市價より約二割安

永和商店

京都市河原町四條上ル西側　電話本局（2）五三二七番